

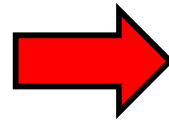
江戸時代の古絵図や近代以降の古地図・地形図等を用いて、江戸時代の丸岡城下町の復元地図を作成し、今後の調査研究・教育・普及啓発・活用のベースマップとする。

<丸岡城に関する現状と課題>

- 一般市民・観光客ともに、天守だけを「丸岡城」と捉えがち
(堀や石垣等を含んだ城下町全体のスケールの大きさや範囲が認知されていない)
- 河川や道路に旧城下町の形状が良く残るが、戦後の市街地拡張により、かつての城下町の区画がわかりにくい
- 昔の文字の読解や、古絵図上での現在地把握が難しく、「古絵図での町歩き」は困難



だれもが、手軽に、楽しく
江戸時代の丸岡城・城下町のスケールを
実感できる仕組みが必要



【江戸時代の復元地図を作成】

- ① 古地図上の距離・形・方角等を正しく再現
- ② 昔の文字(崩し字)を読めるようにする
- ③ 正確な緯度・経度のデジタルデータを反映

【活用・展開の方法】

- ◎パンフレット、町歩き用地図
- ◎地図アプリ
- ◎地域学習・生涯学習の教材 等



<効果>

- ◆ 調査研究・教育・普及啓発・観光サービスへの活用
- ◆ 城下町の「かたち」の明確化 ⇒ シビックプライドの醸成
- ◆ 古絵図がわからない人や初めて丸岡に来た観光客でも、江戸時代の丸岡城下町全体をイメージできるように